



G7広島サミット

2023.5.19_(金)-21_(日)

記録誌 概要版



ここから世界へ、ここから未来へ
HIROSHIMA SUMMIT
広島サミット県民会議

広島サミット県民会議

G7広島サミットが令和5年（2023年）5月19日（金）から21日（日）の3日間にわたり開催され、多くの皆様のご理解・ご協力により、無事に閉幕しました。

歴史的なサミットとなりましたG7広島サミットの概要や広島サミット県民会議等の主な取組を紹介します。

1 G7サミットとは

G7サミットとは、フランス、米国、英国、ドイツ、日本、イタリア、カナダ（議長国順）の7か国の首脳並びに欧州理事会議長及び欧州委員会委員長が参加して開催される国際会議です。

G7サミットでは、世界経済、地域情勢、様々な地球規模課題をはじめとするその時々国際社会における重要な課題について、自由、民主主義、人権などの基本的価値を共有するG7メンバーの首脳が自由闊達な意見交換を行い、その成果を文書にまとめ公表しています。

G7サミットの日本での開催は、今回の広島サミットが7回目となりました。

2 G7広島サミットの概要（令和5年5月19日～21日）

（1）参加国

G7：フランス、米国、英国、ドイツ、日本、イタリア、カナダ、欧州連合

招待国：豪州、ブラジル、コモロ、クック諸島、インド、インドネシア、韓国、ベトナム

招待国際機関：国際連合、国際エネルギー機関、国際通貨基金、経済協力開発機構、世界銀行、世界保健機関、世界貿易機関

ゲスト国：ウクライナ

（2）首脳プログラム等

日程	行事	場所
5/19 (金)	○G7首脳による広島平和記念資料館訪問、被爆者との対話、原爆死没者慰霊碑参拝・献花、植樹 ○セッション1（ワーキング・ランチ）「分断と対立ではなく協調の国際社会へ／世界経済」 ○セッション2「ウクライナ」 ○厳島神社訪問 ○セッション3（ワーキング・ディナー）「外交・安全保障」	平和記念公園 グランドプリンスホテル広島 厳島神社 みやじまの宿 岩惣
5/20 (土)	○セッション4「パートナーとの関与の強化（グローバル・サウス、G20）」 ○セッション5（ワーキング・ランチ）「経済的強靱性・経済安全保障」 ○セッション6「複合的危機への連携した対応」 ○グローバル・インフラ投資パートナーシップに関するサイドイベント ○セッション7「持続可能な世界に向けた共通の努力」 ○夕食会・社交行事	グランドプリンスホテル広島
5/21 (日)	○招待国首脳及び国際機関の長による広島平和記念資料館訪問、被爆者との対話、原爆死没者慰霊碑参拝・献花 ○セッション8「ウクライナ」 ○セッション9「平和で安定し、繁栄した世界に向けて」 ○閉会セッション ○議長国会見 ○ウクライナ大統領による広島平和記念資料館訪問、原爆死没者慰霊碑参拝・献花	平和記念公園 グランドプリンスホテル広島 平和記念公園

（3）パートナーズ・プログラム等

日程	行事	場所
5/19 (金)	○G7首脳配偶者による広島平和記念資料館訪問、被爆者との対話、原爆死没者慰霊碑参拝・献花 ○上田流和風堂訪問（総理夫人主催昼食会、文化行事（香道体験）、呈茶） ○次世代シンポジウム ○総理夫人主催夕食会及びアフターディナー	平和記念公園 上田流和風堂 おりづるタワー
5/20 (土)	○厳島神社訪問（舞楽鑑賞） ○総理夫人主催昼食会 ○夕食会・社交行事	厳島神社 宮島ブルワリー グランドプリンスホテル広島
5/21 (日)	○招待国首脳配偶者による広島平和記念資料館訪問、被爆者との対話、原爆死没者慰霊碑参拝・献花 ○広島県立美術館・縮景園訪問（時絵体験、鯉のえさやり）	平和記念公園 広島県立美術館・縮景園

(4) G7広島サミットの成果

G7広島サミットでの議論の成果を踏まえ、G7首脳による「G7広島首脳コミュニケ」のほか、以下の個別声明等が発出されました。

- ・ウクライナに関するG7首脳声明
- ・核軍縮に関するG7首脳広島ビジョン
- ・経済的強靱性及び経済安全保障に関するG7首脳声明
- ・G7クリーン・エネルギー経済行動計画



原爆死没者慰霊碑参拝・献花



ワーキング・ディナー



グランドプリンスホテル広島での記念撮影



議長国会見



アフターディナーでの記念撮影



鯉のえさやり（縮景園）

3 広島サミット県民会議

G7広島サミットの成功を期するため、官民一体となった県全体の受入れ体制を確立するとともに、関連する事業の実施により、県の活性化に資することを目的として、令和4年(2022年)7月に広島サミット県民会議(以下「県民会議」という。)を設立しました。県民会議では、来広する各国首脳や関係者に「広島に来てよかった」と、そして、参加者等をお迎えする県民等からも「広島で開催されてよかった」と思っただけのサミット開催を目指すとし、基本方針に掲げる5つの柱(開催支援、おもてなし、平和の発信、広島の魅力の発信、ポストサミットを見据えた若者の参画)に沿って、様々な事業・取組を実施しました。

広島サミット県民会議の概要

設 立 日：令和4年7月21日(木)
構 成 団 体：行政、産業経済、観光・宿泊、電気・ガス・通信、
交通・運輸・警備、医療・衛生、平和、文化、
教育分野の機関・団体(計107団体)
会 長：広島県知事 湯崎 英彦
副 会 長：広島市長 松井 一實
広島県商工会議所連合会会頭 池田 晃治
理 事：19人
監 事：3人
事務局体制：72人(最大時)



4 広島サミット県民会議が実施した主な取組

基本方針 1

開催支援

関係省庁や警察、医療機関など関係機関との調整を進め、新型コロナウイルス感染症への対応も含め、サミットを安全、安心かつ円滑に開催できる環境を整えるよう全县を挙げて支援します。



首脳プログラム等の開催支援

首脳プログラムやパートナーズ・プログラムが、安全・安心かつ円滑に開催されるよう、関係省庁や警察などの関係機関と連携して取り組みました。



県産品の活用推進

首脳会議等において県産品を活用してもらうため、政府に対して、広島県産品推薦リストの提供を行いました。その結果、様々な場面で県産品が活用されました。



宿泊予約センター及び弁当供給センターの設置

「G7広島サミット宿泊予約センター」及び「G7広島サミット弁当供給センター」を設置し、関係者の宿泊施設や食事の供給体制を確保しました。



住民説明会の開催等

入域・入島規制等の影響を受ける元宇品地区や宮島の住民、事業者等を対象に説明会を行うとともに、外務省が発行する識別証の配付等の協力を行いました。



インフォメーションカウンターの設置

G7広島サミットの開催に当たり、サミット関係者の利用が見込まれる交通結節点等にインフォメーションカウンターを設置し、学生ボランティア等が交通・観光の案内及び広島の情報発信等を行いました。



みなさまへのお願い

5月18日(木)～22日(月)は、
渋滞緩和の取組に御協力をお願いします。

業務用車両の
運行調整



マイカー
利用の自粛



行事・催事の
日程変更



※行事・催事の日程変更については、その開催に当たり、広島県内の高速道路及び広島市中心部の一般道路において、車両移動が減少する行事・催事も対象となります。

交通総量抑制対策の実施

各国首脳等の移動に伴う交通規制の影響を最小限とするため、県民会議の構成団体等に対し、交通総量抑制対策への協力を呼び掛けました。その結果、交通量削減目標である50%を超える削減を達成できました。



政府高官歓迎レセプションの開催

広島に滞在するG7各国等のサミット関係者の方々に対して、歓迎・おもてなしを行うとともに、広島の魅力を発信するため、歓迎レセプションを開催しました。



象嵌彩窯変 海老 花瓶
制作者：今井政之氏



伝 (広島漆芸酒器セット)
制作者：高山尚也氏



和永 (玉鋼ペーパーナイフ)
制作者：三上貞直氏

首脳等への贈呈品

各国首脳及び国際機関の長等へ歓迎の意を表するとともに、広島の魅力を国内外へ発信するため、県民会議及び開催都市である広島市から、外務省を通じて贈呈品をお渡ししました。

主な実績

G7広島サミットで活用された県産品(食材、飲料、工芸品等)の数 **641** 品

宿泊予約センター取扱泊数(1日あたりの最大値:約2万6千泊) **約38万1** 千泊

弁当供給センター取扱件数(1日あたりの最大値:約3万5千食) **約40** 万食

県内の高速道路及び広島市中心部の一般道路の交通量削減率 **53.8** %

おもてなし

サミットの開催に向けて県内の歓迎機運を高め、サミットに参加する各国首脳とその関係者や国内外の報道関係者、サミットを契機に広島を訪れる方々に対して、県内市町や経済団体、さらにサミットに関わる人々等、幅広い主体が連携したオール広島で、SDGsの理念にも対応しながら、特別な広島とありのままの広島のそれぞれを実感できる、広島ならではのおもてなしでお迎えし、その結果、訪れる方のすべてに広島ファンになっていただきます。



カウントダウンボードの製作・設置

県内の主要な交通結節点等にカウントダウンボードを8台設置しました。うち7台は県内の高等学校の協力を得て製作しました。



G7広島サミットフォーラム等の開催

G7サミットの趣旨や広島開催の意義、開催の効果等について理解を深めるためのフォーラムを開催するとともに、県内各地で、G7サミットウェルカムコンサート等のプレイベントを行いました。



電車・バス等へのラッピング

路面電車、バス、タクシー、旅客船等にラッピングを行いました。路面電車及びバスのラッピングデザインは県内の高等学校等13校の協力を得て制作しました。



応援する取組・協賛・寄附金の募集

全県的な取組を展開し、「オール広島」でのおもてなし・歓迎機運を醸成するため、G7広島サミットを応援する取組及び県民会議事業への協賛等を募集しました。



花を活用したおもてなしの実施

県民等の協力を得て、県内の花壇等に歓迎や平和のメッセージを記載したガーデンピックを、平和記念公園に小学生が育てた花を活用した歓迎ボードを設置しました。



クリーンアップ運動の促進

県民会議構成団体や県内の企業・団体等に、「ここから世界へ、ここから未来へ クリーンアップ運動」と題した自主的な清掃活動呼び掛けました。



モザイクアートの制作(Smile for Peace Project)

県民等から、歓迎の気持ちや平和を願う思いを届ける写真を募集するとともに、応募写真でモザイクアートを制作し、新聞への掲載、国際メディアセンターでの展示、G7各国の在京大使館及びEU代表部への贈呈を行いました。



高等学校等の生徒の取組を紹介する巡回パネル展

カウントダウンボード製作や電車・バスのラッピングデザイン制作等に参加した生徒の経験を広く共有するため、各デザイン等を紹介するパネルを制作し、県内市町で巡回パネル展を開催しました。

主な実績

県民会議ロゴの制作、カウントダウンボード製作、ラッピングデザイン制作に携わった延べ学校数

21 校

G7広島サミットを応援する取組の認定件数

2,045 件

協賛件数

69 件

平和記念公園内の歓迎ボード用の花の育成に参加した小学校数

27 校

クリーンアップ運動に参加した企業・団体数

218 団体

平和の発信

各国の首脳や報道関係者など、世界中から被爆地広島に訪れる多くの方々に、被爆の実相に直接触れていただく機会を提供することで、核兵器の恐ろしさに理解を深めていただくとともに、核兵器のない平和な世界を希求する「ヒロシマの心」を世界中に発信します。
あわせて、被爆の惨禍から目覚ましい復興を遂げた広島だからこそ感じられる、平和による繁栄のメッセージも届けます。



首脳等による平和記念公園訪問の実施支援

各国首脳等による平和記念公園の訪問について、外務省をはじめとした関係各所との調整などを通じて、行事の円滑な実施を支援しました。結果として、今回のG7広島サミットで来広した全ての首脳・国際機関の長に被爆の実相に直接触れていただきました。



G7広島サミットユースフォーラムの開催

県内の中高生が自分事として平和への興味・関心を深め、未来に向けて戦争や平和について考えることを目的としたフォーラムを開催しました。フォーラムでは、県内の高校生が平和に関する活動を紹介しました。



被爆楽器を活用した演奏会

G7各国の在京大使館関係者等の歓迎レセプションやG7サミットウェルカムコンサートにおいて、被爆バイオリンや被爆ピアノを活用して、言語の壁を越えて思いを伝えることのできる音楽を通じて「ヒロシマの心」を発信しました。



海外メディア招へい

G7各国の主要紙に対してサミット前に広島を取材してもらおうよう働きかけを行い、被爆者へのインタビュー等の取材やその記事を通じて、世界中に被爆の実相や復興の歴史などを発信しました。



プレסטツアーの実施

在日海外メディアを対象としたプレסטツアーを外務省との共催により実施し、海外向けの報道を通じて、広島で受け継がれる平和への想いを世界へ伝えました。



被爆の実相・復興の歴史の発信

国際メディアセンター内に設置した広島情報センターで、世界中から広島を訪れた報道関係者を対象に、広島平和記念資料館の実物資料や復興の歴史に関する展示等を行ったほか、被爆体験講話を3回実施し、被爆の実相に直接触れていただく機会を設けることで「ヒロシマの心」を発信しました。



主な実績

広島平和記念資料館を訪問・被爆者と対話したリーダーの数

24人

G7広島サミットユースフォーラムに参加した
県内の中高生の生徒数

1,075人

平和をテーマにした海外メディア招へい、プレסטツアー等に
参加したメディアの数

38社

国際メディアセンター内の広島情報センターで実施した
被爆体験講話のメディア等参加者数

84人

広島の魅力の発信

2つの世界遺産と1つの世界無形文化遺産をはじめ、活力あふれる産業やスポーツ・文化、多彩で美味しい山海の食資産、神楽等の伝統と豊かな自然が融合した文化など、先人たちが築き上げてきた広島の多くの魅力を世界に発信します。



県民会議ロゴの制作

県民会議の活動をPRするため、県民会議のロゴを制作し、様々な媒体で活用されました。図案とキャッチフレーズは、県内でデザインを学ぶ高校生の協力を得て制作しました。

G7広島サミット 2023.5.19(金)~21(日)開催



G7広島サミット 2023.5.19(金)~21(日)開催



ポスター等の掲示物の制作

G7広島サミットをPRするポスター、リーフレット、説明パネル等を制作しました。これらは、県民会議構成団体や学校、企業・団体等の協力により、県内を中心に各地で掲示・活用されました。



サミットPR動画等の制作・放映

G7広島サミットPR動画を制作し、県内外で放映しました。また、県民の取組をメイキング映像として収めた動画を制作し、国際メディアセンター等で放映しました。



警察関係者への魅力発信

警備等で来広した全国の警察関係者へ感謝の気持ちを表すとともに、広島魅力を伝え、観光等での再来訪につなげるため、県産品を活用した記念品を配付しました。



プレストアの実施

サミットの開催地として世界から注目が集まる機会を活用し、在日海外メディアを対象としたプレストアを実施(テーマ:①産業や環境、②食や伝統、文化)し、海外向けの報道を通して、広島魅力を世界へ発信しました。





広島情報センターの設置

報道関係者を通じて広島を国内外にPRし、認知度向上を図るため、国際メディアセンター内に、広島情報センターを設置し、「伝統工芸」「技術」「環境」「食と酒」等のテーマ別の展示、県内23市町のPR展示、試食・試飲、体験、ステージPR等を実施しました。

主な実績

県民会議ホームページ(日本語版及び外国語版)の総PV(アクセス)数
(令和5年5月31日(水)時点)

約 **124万** PV

G7広島サミットPR動画の視聴回数
(令和5年5月31日(水)時点)

約 **42万** 回

広島情報センター延べ来場者数

50,327 人

ポストサミットを見据えた若者の参画

G7の首脳が直面する国際社会の諸課題について対話を行うサミットに関連する様々な取組に、未来を担う若者が関わる機会を提供することで、若者の国際感覚やチャレンジ精神を涵養します。また、国際問題に関心を持ち理解を深めた若者たちが今後の広島への担い手として自発的な行動を起こすことを後押しすることで、サミットの成果を未来につなぎます。



G7広島サミットジュニア会議の開催

未来を担う若者が、国際的な諸課題やその解決に向けた取組などについて理解を深めるとともに、困難な課題にもチャレンジ精神を持って取り組むようになることを目的に、G7広島サミットジュニア会議を開催しました。



サミット塾の実施

今後の広島への担い手となる若者のG7サミットに関する理解を深めるとともに、国際感覚やチャレンジ精神を涵養するため、外務省職員によるG7サミットや国際問題をテーマにしたサミット塾を、外務省との共催により実施しました。



学生ボランティアによる活動

県内21大学等から学生ボランティアを募集し、広島を訪れるサミット関係者等のおもてなし対応やイベント会場での通訳など、様々な場面で活動する機会を提供しました。



首脳等による平和記念公園訪問時の介添え

広島市内の小・中・高等学校の児童・生徒が、各国首脳等による原爆死没者慰霊碑への献花及び植樹の際の介添えを行いました。



Y7サミット代表団への 平和プログラム等の提供

Y7サミットに参加するG7各国等の代表団を広島に招き、平和プログラム等を提供するとともに、代表団と地元の若者が国際課題についての意見交換を行う機会を設けました。



サミット関係施設の見学会

次世代を担う県内小・中・高等学校の児童・生徒等にG7広島サミットの現場を肌で感じてもらうとともに、開催に係る県民の皆様のご協力への感謝のため、外務省との共催により関係施設の見学会を開催しました。

主な実績

サミット塾に参加した学校数・延べ生徒数

23校・**5,180**人

G7広島サミット関連事業で活動した学生ボランティアの延べ人数

406人

サミット関係施設の見学会に参加した児童・生徒等数

809人

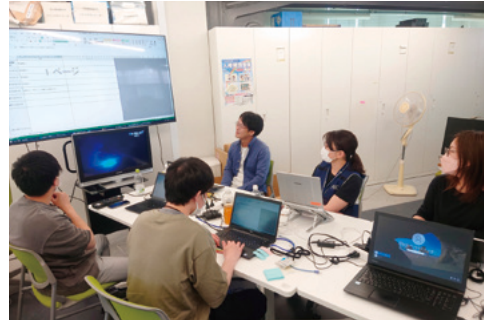
5 広島県・広島市が実施した主な取組

広島県及び広島市においても、G7広島サミットに関連する様々な取組(防災・危機管理、警備・交通、公共インフラ・環境整備、保健医療、平和推進、魅力発信等)を実施しました。



公共インフラの整備(広島県、広島市)

G7広島サミットの安全・安心かつ円滑な開催を支援するため、首脳等の移動が想定されるルートの道路環境整備等を行いました。



感染症対策(広島県、広島市)

感染症の発生を未然に防止するとともに、発生時の迅速な対応を行うため、感染症の発生動向調査(サーベイランス)を強化するなどして、情報収集体制の充実を図りました。



花壇等の植替え(広島市)

G7広島サミットの開催時期にあわせ、平和大通り等に設置している花壇及びプランターの花苗の植替えを行いました。



**G7広島サミット関連公開イベント
「核抑止を再考する」の開催(広島県)**

核兵器のない世界の実現に向けた具体的な貢献につなげていくため、公開イベント「核抑止を再考する」を開催しました。



**G7広島サミットにあわせた
被爆建物・被爆樹木めぐりの開催(広島市)**

G7広島サミットにあわせ、令和5年5月以降に主として広島市外や海外からの来広者を対象とした被爆建物及び被爆樹木めぐりを開催しました。



食の魅力発信・地元産品の活用(広島県、広島市)

G7広島サミットの開催を契機に、県の多彩な食の魅力を国内外に発信しました。また、広島湾七大海の幸とG7各国の料理や食材を使ったレシピを公募するグランプリを開催しました。



夜神楽特別公演等の開催(広島市)

G7広島サミットの歓迎機運の醸成を図るとともに、広島市の伝統芸能である神楽の魅力を発信するため、夜神楽特別公演等を開催しました。



サミットのテーマとなる様々な分野や参加国に関する特設コーナーの開設等(広島県)

県立図書館において、サミットのテーマとなる様々な分野や参加国に関する図書を整備した特設コーナーの開設等を実施しました。

6 広島県内の各市町が実施した主な取組

広島県及び広島市以外の県内22市町においても、各市町独自の取組のほか、各市町が主催・共催するクリーンアップ運動、県民会議事業(ガーデンピックの設置、国際メディアセンターでのPR)を実施しました。



G7広島サミット応援献立の学校給食



特産品製造



G7サミット学習会



クリーンアップ(海岸清掃)



ガーデンピックの設置



国際メディアセンターでのPR



ここから世界へ、ここから未来へ

HIROSHIMA SUMMIT

広島サミット県民会議



[G7広島サミット 記録誌] はこちらから

G7広島サミット 記録誌 (概要版)

令和5年12月発行

発行 広島サミット県民会議